



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 382 号

(創刊 1988.12.14)

2021.07.04.

シールドマシン本格掘進

5月31日、長い間西ヶ谷団地横の工事用車両出入口辺りに停止していたマシンが動き出した。6月28日現在犬山町の東電鉄塔下を過ぎて、犬山74-1~に接近しています。

工事用仮設道路入口に隣接する犬山町のお宅はシールドマシンが敷地境界すぐ横、土被り18mの所を通過し、マシンがすぐ横を掘進している時はすごい振動で、外のフェンス支柱や家も触るとビリビリと振動していた。事業者が苦情を入れたところ、担当者が謝罪に来て、「ここは岩盤のため振動が激しいが通り過ぎれば収まる」と説明した。通り過ぎる間我慢しろということか。昼間のような振動では夜も眠れないので、夜10時には止めるように申し入れたところ、その後は静かになった。夜間は回転数を半分に落としたと聞いていたが、振動が発生する掘削を止めてセグメントを組み立てる作業にしたと改めて説明があった。

一日12m進む場合、4時間サイクルで2mの掘進とセグメントを貼りつける作業を繰り返すが、夜間は回転数を落とすことで1サイクルの時間を延ばしているのだろう。

「犬山町は深さが浅くトンネルにも接近しているので、かなりの振動であったが、だんだん深くなり、トンネルからの距離もあるから影響はどうか？」と話されていたが、これからマシンが通過する湘南桂台は敷地境界から僅か50cmしか離れていない所を一番深い所で土被り40m、桂台第4公園手前では土被り22mの浅い所を掘進するので、門扉等に被害が出る虞がある。建物調査の写真と比較して確認して欲しい。振動被害についても我慢や遠慮せず事業者へ苦情を申し出てください。

(西ヶ谷 高村鈴子)

事業者との質問・回答会議報告

7月1日(木)本年2回目の質問・回答会議を開催したので概要を報告します。

○釜利谷開口部について

検討結果、NO₂、騒音の影響は環境基準値以下で影響は小さく新たな環境対策は考えていないとの回答に対して、アセス時ではトンネル区間の排ガス量の13%程度であったものが換気所計画変更によって40%と大幅に増大された。その影響についてアセス時の環境影響予測評価と同等に行い住民の理解を得ることが必要である。アセスでは換気所からの影響について詳細な調査データと全方位の影響を等高線図で示す等行っているのであり、同等の影響予測評価を行うことを求め、それが出来ないのなら釜利谷開口部は蓋掛けを行うよう強く要求した。

○トンネルからのNO_x排出量数値について、笠間公田トンネル排出量に坑口から地上部の320mを算入していることについての問題について、技術指針で坑口から200m以内はトンネルに算入してよいとの規定があり算入したとの事業者回答があったが、地上部の排ガスをトンネルに入れた場合、田谷地区の予測評価に影響を与えるものであり問題があることを指摘、再検討を要求した。

○上郷公田線の神戸橋～西ヶ谷ハイツ前交差点間の計画交通量6200台/日について

市は国交省からの数値と言っており、今回、国交省からは将来交通量推計値であるが、一路線毎のチェックでなく県内全体を代表的路線で推計している、市の求めに応じて部分的に抽出したところ6200台の数値が出たもの、との回答であった。平成27年における説明会では9900台と示しており、これも国交省からの数値であるとの市の回答であり、基本的に6200台との整合性に疑問がある、再度整合性チェックを求めた。その他の質疑は次号で報告します。

(事務局長 長谷川誠二)

対外活動報告

06/07 国交省道路局総務課、電話交渉

06/16 区政推進課打合せ(会長)

07/01 事業者との質問・回答会議

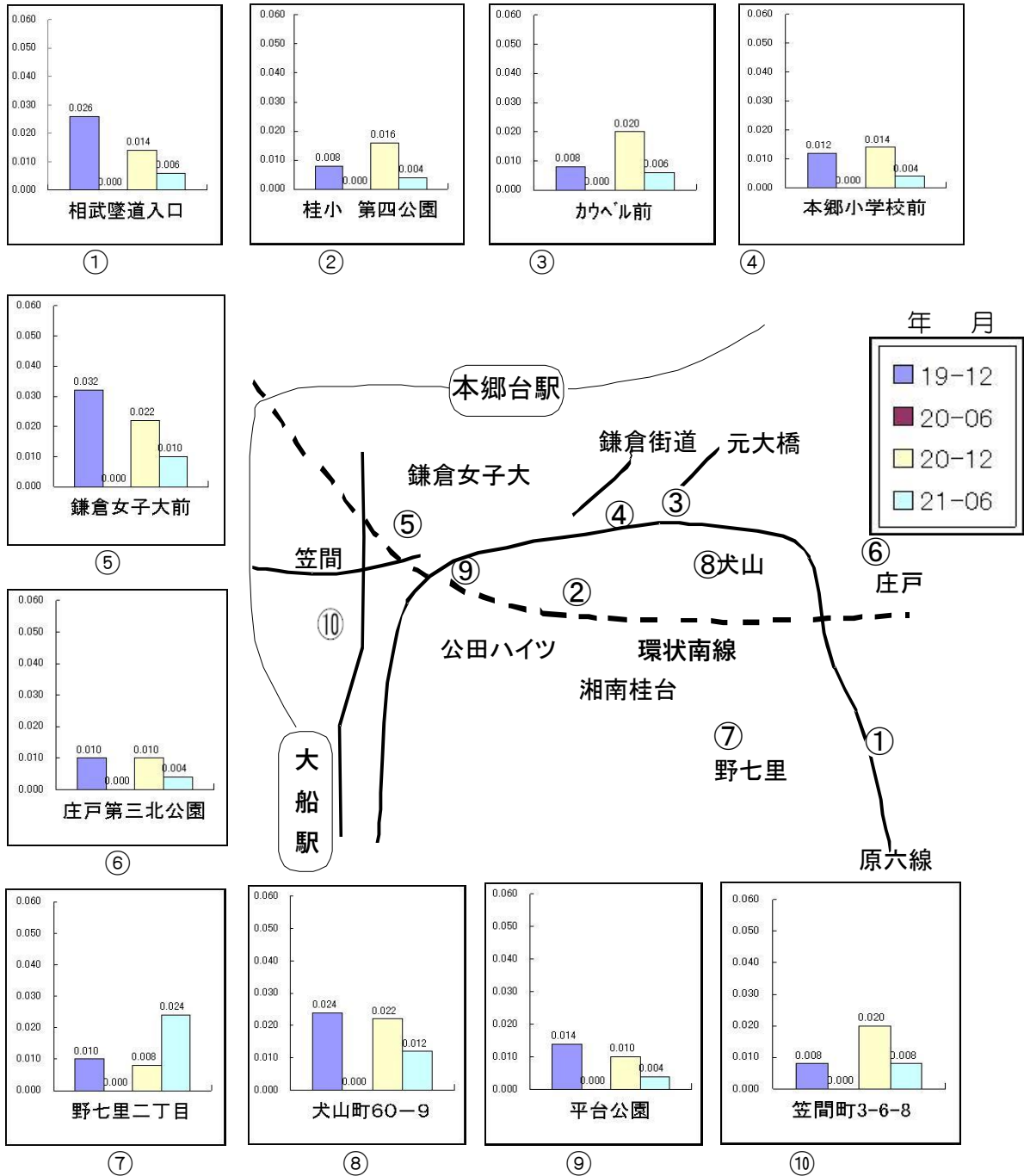
(於：西ヶ谷ハイツ)

令和3年(2021年) 6月期のNO₂定点測定結果まとまる

連協環境部では各団体参加のもと、毎年6月と12月の2回第一木、金、土曜日を使って栄区内の定められた場所21箇所に 二酸化窒素の濃度を測定するカプセルを設置して、所謂定期定点観測を続けております。今回は曇り後雨、微風の中での測定でした。以下に主な測定点の過去3回の測定値とグラフをしめします。

いずれも環境基準0.060ppm以内でした。

なお2020年度6月の測定は新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。



二酸化窒素測定作業

試薬及び試薬付きろ紙は有限会社筑波総研より取り寄せております。

カプセルの準備: カプセルにろ紙をセットし、ひも付きカップ、記録紙と共に各団体に配布。

測定: 各団体は担当の各ポイントにその番号のカプセルを24時間設置した後回収します。

分析: カプセルに試薬を加えると、ろ紙が吸収した二酸化窒素と反応して赤紫色に着色します。その濃度をエコアナライザーNoxで測定します。ppmでデジタル表示されます。